これは「戦争へつながる法案」■数を頼りの強行　絶対許さない

戦争法案阻止

若者　全国で決起

東京農工大学有志
PEACE NOT WAR
ANTI Fascist
GIVE PEACE A CHANCE
WAR IS OVER IF YOU WANT IT
CHANGE THE PRIME MINISTER
とりま廃案
ポツダム宣言読め

「戦争法案を廃案に」と表参道をデモ行進する人たち＝23日、東京都港区

戦争法案に反対する若者たちのスピーチが注目されています。SEALDs（シールズ＝自由と民主主義のための学生緊急行動）が23日、東京都港区でおこなった「表参道デモ」から２人のスピーチ（要旨）を紹介します。

こころさん　19歳

声あげている現実に希望

私たちが「戦争法案」とコールするたびに、だれも戦争したいわけじゃない、間違ったレッテルはるな、という人がいます。

では別のいい方をします。これは「戦争へつながることを許すための法案」です。もう一ついい換えます。これは「あとでいくらでもいい訳できる法案」です。この法案が通った後に起こり得ることを必死で隠そうと、懸命にいい訳している人たちの姿が目に浮かびます。私はそんな未来をつくらせたくはありません、そんな未来を許すわけにはいきません。

「早く質問しろよ」「そんなことどうでもいいじゃん」というセリフがとっさに口から出るような人が私たちの国の総理であることが、本当に情けないです。

国民の不安を必要以上にあおり、国会では質問をいかにはぐらかすかに懸命になって、的外れな例えでごまかしの説明ばかり。私たちがおとなしくそれにうなずくと思っているのなら大間違いです。国民をバカにしないでください。

国民に理解してもらうと口ではいいながら、耳をふさいで自分の考えをただ一方的に押し付ける。なぜ対話をしようとしないのですか。耳を傾けようとしないのですか。それが私たちのお手本となるべき立場にいる人が示す態度なのですか。またそれを当然のように許している周りの政治家たちも本当に恥ずかしいです。

私たちは歴史の「今」に立っています。その「今」は、過去の積み重ねの上にあります。過去から学んだ本当にたくさんのこと、それらを未来へ引き継いでいく責任があります。平和を誓って以後70年を歩んできた唯一の被爆国として、また震災から原発の仕組みとそれがもたらす悲劇を経験した国民として、世界に発するメッセージは、「戦争へつながることを許す法案」なんかじゃありません。私たち日本人には、世界に対しても大きな責任があります。

小さな子どもでも知っています。平和とは手を取り合うこと、握手するということ、傷つけたら謝ること、許し合うこと、分かり合おうとすること、違いを認め、力を合わせてともに歩んでいくことです。

今この同じ時間も、別の場所で誰かがそれぞれのやり方で声をあげている。その現実に、私は希望を見いだしています。私は、私たちは絶対にあきらめません。

大切なことを大切だといえる社会を、平和を、一緒に育んでいきましょう。そのことを、安倍さん、あなたが止めることは絶対にできません。

タクヤさん　高校2年生

自分たちの未来のために

僕は、ふだん学校にいって、予備校にいって、普通の生活を送るごく普通の高校生です。

まず初めに、安倍政権が無理に推し進めようとしている安保法制に僕は絶対に反対です。

大多数の憲法学者が指摘しているように、あの法案は完全に憲法違反だからです。日本の最高法規たる憲法を軽視して、安保法制を争点にあげない選挙で選ばれた議席を頼りにして、強硬に採決しようとしている内閣や与党の姿勢を、僕は絶対に許しません。

実際どの世論調査でも過半数が法案に反対といっています。主権者である国民の声を無視して、独裁国家のように物事を進める現政権のやり方には強い怒りを感じます。

安倍政権は「徴兵制」など完全に憲法違反で絶対にあり得ないと説明し続けています。しかし数を頼りに憲法をないがしろにしている、そんな政治家の言葉は完全に矛盾しているし、いっさい信用できないです。ましてや現実的には「経済的徴兵制」なども起こる可能性が高いのです。

もしそうなったら、実際に戦場に行き命をかけてたたかうのは僕たち自身です。憲法違反を犯した政治家たちではないのです。みなさんにはこのことをぜひ想像してほしいです。

国民の、地域の代表たる政治家が、主権者たる国民の8割が説明不足と感じている法案を強硬に成立させようとしていることに「おかしい！」と声をあげてほしいのです。

僕たちが抗議の声をあげたくらいでは何も変わらないという声もよく聞きます。でもこの活動を通して、それは間違いだとハッキリわかりました。実際に、政治の話などまったくしなかった友達が、自ら勉強して話しかけてくれたり、また自分の周りの選挙に行かなかったおとなが「次は必ず行く」と約束してくれました。

僕たち一人ひとりが信念をもって声をあげ続ければ、確実に変わるんです！　だから、僕はまだ諦めていません。これからでも廃案にするチャンスはあると思っています。僕たちは微力ではあるけれど、無力ではないからです。

この活動は自分たちの未来のためです！　自分たちの未来を自分たちの力で守れるように、みんなで力を合わせましょう！

ＳＥＡＬＤｓ　学生たちでつくるSEALDs（シールズ）は、「Students Emergency Action for Liberal Democracy—s」の頭文字をとったもの。「自由と民主主義のための学生緊急行動」といいます。

秘密保護法に反対してきた学生たちが、ことし５月、新たに結成。「私たちは、戦後70年でつくりあげられてきた、この国の自由と民主主義の伝統を尊重します。そして、その基盤である日本国憲法のもつ価値を守りたいと考えています」と表明しています。

安倍政権が打ち出した戦争法案に強い危機感を抱き、６月５日から毎週金曜日夜の国会正門前抗議行動を続け、万単位の人を結集する場となっています。

共同の広がりを紙面で／衝撃の自衛隊内部資料

「しんぶん赤旗」

7月11日付

違憲立法 戦争法案 廃案必ず

SEALDs 1万5000人抗議 国会前

女性弁護士160人宣伝

「日本の将来決めるのは国民」

「行動しないと何も変わらない」

7月27日付

「だれの子どもも、ころさせない」

ママの声 渋谷に響く

8月12日付

戦争法案の施行前提に自衛隊が部隊編成計画

"8月成立" 日程表まで

小池氏「軍部独走の

8月13日付

これが自衛隊内部資料だ

憲法を日米同盟に従

「しんぶん赤旗」とともに68年
あかつき印刷株式会社
本　社　東京都渋谷区千駄ヶ谷四－二五－二　ＡＰビル　☎〇三－三四九七－〇五三一
九州営業所　福岡県糟屋郡新宮町立花口山ノ口一〇五－三六　☎〇九二－九六二－六一三一
東北営業所　岩手県北上市藤沢一七－九六－一　☎〇一九七－六三－四八七六

ALPHA
広告宣伝物全般の企画・制作
［株］アルファ・デザイン
〒一五一－〇〇五一　東京都渋谷区千駄ヶ谷一－八－一四－三
電話〇三（五七七五）〇〇八五　FAX〇三（五七七五）〇〇八一

脱原発、自然エネルギーへの転換を
株式会社　関西共同印刷所
〒五三一－〇〇七六　大阪市北区大淀中三－一五－五
電話〇六（六四五三）二五六四　FAX〇六（六四五二）四九八〇

メディアの力で幸せな社会づくりを
―クロスメディア総合宣伝センター
media K center
株式会社　きかんし
〒一三五－〇〇五三　東京都江東区辰巳二－八－一二
電話〇三（五五三四）一一三四　FAX〇三（五五三四）一一三五

迅速・正確・安全に安定した輸送
株式会社　教宣文化社
〒三五九－〇〇一二　埼玉県所沢市坂之下七九四
電話〇四（二九四四）四三三三　FAX〇四（二九四六）〇一一八

平和・民主主義の日本と世界をご一緒に
株式会社　光陽メディア
東京都新宿区築地町8
℡〇三－三二六〇－九一三一

民主運動のためのデザインプロフェッショナル集団
株式会社　ダンアートメディア
〒135-0053　東京都江東区辰巳2-8-21（5F）
☎03-3521-1762　FAX 03-3521-1787

東海・北陸の「しんぶん赤旗」印刷を担う
（株）中部共同印刷
〒四八五・〇八二九　愛知県小牧市小牧原三丁目191番地
☎〇五六八（七一）一六〇一

「憲法守れ」の声を伝える紙は―
東芳紙業株式会社
〒一〇一－〇〇五二　東京都千代田区神田小川町三－一〇
電話〇三（三二九三）九三三一　FAX〇三（三二九二）七五七〇

人をつなげる。夢をひろげる。
㈱北海道機関紙印刷所
札幌市手稲区曙二条三丁目二－三四　☎〇一一－六八六－六一四一
www.hki.co.jp